

平成 25 年度事業計画書

I. 総括

我が国経済は、一昨年の東日本大震災以降後退局面にあったが、安倍政権の経済政策「アベノミクス」に対する期待を背景に、円安・株高と今年の 12 月より景気は回復局面に転じている。

こうした環境の下、当協会は一般社団法人としての 2 年目の年を迎え公益目的支出計画に沿った事業と、それを支える収益事業を円滑に進めることで組込み業界の発展に寄与していきたい。

平成 25 年度の重点推進事業を下記の 7 項目とし、その事業推進に予算措置を含めた強化体制でのぞむこととしたい。

平成 25 年度重点事業項目

1. 組込み技術の調査研究活動の推進と研究成果の情報発信
2. 協業力の強化推進
協業マッチング、アライアンスビジネス交流会の定例化
地方支部への展開及び関連団体との交流
3. 国際化推進
グローバル化推進企画及び海外関連団体との連携強化
4. 組込みソフトウェア技術者試験(ETEC)の普及拡大
ETEC クラス 1 試験の実施
5. ET 展示会の拡充(公益事業を支える収益事業としての維持拡大)
6. 関連団体との情報交換及び連携事業推進
7. 会員の増強

Ⅱ．委員会活動計画

運営本部

総務委員会

一般社団法人移行に伴った、規程・規約類の整備を行う。

1. 委員会
(年6回程度開催予定)

広報委員会

協会活動を主に積極的な広報を展開する。

機関誌では、技術・業界動向、協会活動状況、会員情報等を掲載し、会員のみならず関連機関、教育機関等に向け、またET展での配布など広報誌としても活用する。

HPでは、JASAからの情報公開・提供を促進するため、委員会活動と成果、支部活動、イベント情報、コラム等を広く発信する。併せて、メーリングリスト活用による情報提供・交換を行う。(会員、JASA、ET、委員会等)

1. 機関誌(Bulletin JASA)発行
協会活動等の広報
2. ホームページ運営・管理
協会ホームページ運用による広報・周知等
 - ・サーバー運用管理及び情報、コンテンツ掲載、更新等
 - ・コンテンツとして、技術者や教育担当者による座談会を実施(8月)

国際委員会

1. 委員会の開催
委員会としての課題を探るため、識者に依頼して「委員会スピーチ」の機会を設ける。(隔月開催予定)
2. 国際化推進ワークショップ
基調講演と、事例紹介企業のワークショップと参加者・講演者にて交流会を開催する。

3. 海外協力への委員派遣
委員会を含めた JASA 会員企業から海外協会への委員等の派遣あるいは招聘する。
(候補先：①安徽省、②TCA (台湾)、③タイ・ミャンマー等)
また、「JASA Global Forum」開催の機会に海外より講師を招聘する。
4. JASA グローバルフォーラム
ET2013 開催の機会を利用した「JASA Global Forum」を計画・推進する。
5. 「国際だより」の発信
JASA ホームページに「JASA 国際だより」を設け、国際委員会から積極的に情報発信を行っていく。
6. アンケート調査
会員企業及び、外部企業のグローバル化に関するアンケート調査の実施。

協業推進委員会

組込みシステム開発企業(川上)の地域間の交流と、川下とのマッチングの環境を提供する。

1. 定例委員会
全委員を対象に、下記イベントの企画運営の検討を行う。(毎月開催予定)
2. JASA 交流セミナー
地域の川上企業への情報提供と、川上間、川上・川下間の交流を図る。
具体的には、北海道地域、九州地域の 2 回の開催を予定する。
3. 協業マッチング
関東地域を中心とした、川上側のプレゼンと川上・川下間の交流を図る。
4. CSAJ 合同開催アライアンスビジネス交流会
コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)と合同で、有形・無形のプロダクト保持企業と、主に販売会社間のマッチングを行う。

教育事業本部

ETEC 企画委員会

ETEC クラス 1 の試験運用開始を予定する。
ETE C クラス 2 においては、学生等需要の顕在化を図る。また、他試験とのアライアンスも検討を開始し、新規需要にも取り組む。

1. 委員会開催
ETE C トラフィック、販促イベント等諸施策を検討する。(月次開催を予定)

2. クラス 1 問題作成・検討
β版(試用)試験問題を作成し、作問の正当性の確認を行う。(年 6 回程度開催予定)
3. クラス 1 試験運用
初年度は、クラス 2 受験者への周知を徹底し、250 試験を目指す。
4. クラス 2 問題作成・検討
試験問題の正当性を確認し、試験問題の Update を行う。(年 3 回程度開催を予定)
5. クラス 2 試験運用
国内 1,200 試験(前年比 10%増)、中国市場については 250 試験以上を目指す。
6. 広告宣伝
クラス 1 リリースに合わせ、ETEC シリーズ化を機にロゴ、デザイン、コピーの見直しを行い、ブランド訴求を行う。
7. ET/ET-West 出展
ET-West2013, ET2013 の JASA ブースに出展し、組込みシステム開発人材に対して、直接アプローチを図る。
8. 販売促進
クラス 1 の認知度向上と、クラス 2 を合わせた活用を提案するため、東京のみならず、主要都市での説明会を開催する。合わせてその機会に主要企業や学校法人を訪問する。

研修委員会

学校法人との情報交換との関係を強化し、組込みシステム開発技術者育成の支援をさらに充実させる。

企業内の人材育成支援を目的としたワーキンググループを本格稼働し、人材育成の実態調査から、研修の提案まで検討する。

- 1 委員会開催
委員全員を対象とした会議を開催し、以下の事業を実施していく。
- 2 Bulletin JASA 発送
Bulletin JASA や ET2013 等、タイムリーな情報を学校法人に配送する(年 5 回程度)。
- 3 ET, ET-West
ET-West、ET の機会を捉え、学校法人を集客し、下記調査結果をプレゼンテーションする。
- 4 アンケート調査
組込みシステム開発系企業に対して、技術系新卒採用者に求めるスキルを調査し、調査結果を集計・分析し、報告書を作成する。調査結果は主に学校法人に周知し、育成を啓蒙する。
- 5 訪問活動
上記アンケート結果に基づく育成と JASA との連携強化を目的に学校法人の訪問活動をじっしする。(首都圏 10 校程度、東北・中部・近畿・九州 10 校程度)

- 6 インターンシップ推進
主に会員を中心にインターンシップ導入に向けた啓蒙と、導入ノウハウを Bulletin JASA 等媒体を介して行う。また、インターンシップ関連団体との連携も模索する。
- 7 人材育成支援ワーキンググループ
企業内の人材育成・スキルアップに関して現状把握、情報収集、研修立案、照会等を行っていく。
 - 7.1 WG 会議
WG メンバー全体の会議を行う。(隔月開催を予定)
 - 7.2 実態調査
企業内の人材育成の実態・問題点を調査する。

ET ロボコン実行委員会

組込みソフトウェア技術者の人材育成・教育を目的として、全国 11 地区にて、研修と地区大会を実施する。地区大会は、モデル審査と走行競技により行われ、終了後にはワークショップも開催する。

各地区の優秀チームによるチャンピオンシップ大会(走行競技、ワークショップ)を ET2014 併催イベントとして開催する。

1. 地区大会
全国 11 地区にて研修及び地区大会(モデル審査・競技及びワークショップ)を実施運営する。
2. チャンピオンシップ大会
各地区優秀チームによるチャンピオンシップ大会(競技及びワークショップ)を実施運営する。

技術本部

技術本部会議

技術本部の活動を総括する場とし、本部会議を実施する。

1. 技術本部会議
技術本部の活動を総括する場とし、本部会議を実施する。
2. 成果発表会
主として前年度の活動成果を成果発表会と言う形で公開発表する。
3. 技術本部セミナー
ET2013 にて、年度の中間成果を中心にオープンセミナーを開催する

プラグフェスト

1. 日本プラグフェスト

川下メーカーとの関係強化を目的に、主に国内家電メーカーが参加し、機器の接続性の検証を行う。(春・秋年2回予定)

CMSIS

組込み開発企業や我が国の経済基盤である中小企業に特化した ISO27001 準拠の情報セキュリティとして CMSIS 認証を推進する。

1. 展示会への出展

SecurityShow2014 (4Q) あるいは SecurityEXPO (1Q) をターゲットにする。

2. セミナー開催

認証組織 ISA、認証教育団体グローバルテクノのセミナーに参加する。

3. 営業活動

潜在顧客へ訪問活動を実施する。

4. 保守

仕様書等の改定作業を実施する。

5. 認証料金

認定証発行収入。

ハードウェア委員会

前年度に引き続き「組込みシステム」の明確化を議論する。委員会の中だけに閉じた議論となるのを避けるために、外部の有識者や企業の代表者などを招いた講演を2回ほど予定する。

これらの検討を通して「組込みシステム」というものが明確にすることが出来れば、次年度以降に本題である「組込みハードウェア」に関する調査検討へと議論を展開する予定である。

成果については、ET での発表、BulletinnJASA への寄稿などにより、JASA 会員を中心に広く提供する。

1. 研究会

議論の場として開催する(年4回程度を予定)

2. 組込み企業現地調査

地方の組込み企業へ現地調査(年3回程度を予定)

3. JPCA ショー出展

JPCA 会場にて主に前成果を中心にオープンセミナーを開催する。

安全性向上委員会

1. 委員会
定例会を開催する。セーフティ(S)やセキュリティ(S)に関する技術動向を調査し、かつこれらの要求を高い品質(Q)で仕様化するための研究を行う(SSQ)。ビジネスの応用も検討する。適宜アドバイザーを招聘し、また会員の増強もはかる。
2. 合宿
活動内容の集中討議を行うとともに、委員間の交流を図る。
3. 外部発表
研究会の活動をアピールする。

応用技術調査委員会(技術セミナーWG)

1. JASA/ET セミナー
JASA 会員及び一般に先端技術を紹介する。(年 6 回程度を計画)
2. 地方開催セミナー
首都圏以外の地域において JASA/ET セミナーの開催を開催し、組込み技術の啓蒙活動と JASA のプレゼンス向上を狙う。(年 2 回程度を計画)

応用技術調査委員会(プラットフォーム研究会)

1. 委員会
アドバイザーを招き、技術動向などを検討するとともに、OpenEL の進捗状況等を確認、議論し、フィードバックする。
2. 合宿
活動内容の集中討議を行うとともに、委員間の交流を図る。
3. 外部発表
国内外を問わず、機会を捉え、研究会の活動をアピールする。

技術高度化委員会(OSS 活用 WG)

日本の組込み仮想化市場の形成を目標として活動する。
まず用語の標準化と、仮想化技術を正しく知らせる資料作りを先行して進める。

1. WG 会合
活動の成果(途中を含む)を議論し、ブラッシュアップする。(隔月開催予定)
2. OSS 活用会議
技術者育成の一環として OSS を活用するにあたり、何ができるかからリスクの把握に至るリテラシーをまとめあげる。

3. OSS フォーラムの開催
フォーラムを開催し、活動成果全般を公開する。

技術高度化委員会(モデルベース開発・検証研究会)

モデルベース開発の普及を図るため、QUEST(九州モデル駆動開発推進部会)と強調して活動する。

1. 委員会
サンプルモデルとして九州大の例題を中心に評価する。(隔月開催を予定)
2. セミナー
本研究会の活動報告と企業への先進的導入の為のセミナーを開催する。(年2回を予定)

技術高度化委員会(実装品質強化 WG)

非機能要求グレード、非機能要求とアーキテクチャ分析 WG 報告書(IPA)や REBOK(JISA)といった既存の情報を参考に、実製品における非機能要求実装方法の調査に関して競争力を持つ製品での聞き取り調査と分析を行う。(東洋大学野中研究室へ調査委託予定)

1. WG 会合
活動状況のすり合わせ、調査内容の検討を行う。また、年末には活動を総括し、委員間の親交を深める。(毎月開催を予定)
2. 非機能要件の抽出
企業調査(ヒアリング)の継続と委託研究の契約実施し、組込みにおける非機能要件の抽出のためのガイドラインを作成する。
3. 調査
開発プロセスにおけるツールの利用状況を調査する。

技術高度化委員会(状態遷移設計研究会)

2012年度に策定した「状態遷移設計における SPLE 実践ガイド」の広報・普及活動を展開する。

また、2013年度～2014年度の2年計画での新規活動テーマを検討・推進する。

1. 定例会議
方針の策定、進捗状況の確認する。(毎月開催を予定)
2. SPLC 国際会議参加
SPLC 国際会議にて、SPLE E 実践ガイドの紹介。(第2四半期開催予定)
3. SPLE 実勢ガイドの普及活動
各地のセミナーや、団体と交流を深めながら、普及活動を行う。(年4回程度を予定)

4. SPLE 実践ガイドの製本
セミナー、ETなどでの配布することを目的に制作・製本する。(300部を予定)

ET 事業本部

業界を牽引する JASA 主催イベントして展開する。

ET では、組込み業界の動向と方向性を見据え、新技術・ソリューションとビジネス情報の発信、対象分野と来場者層の拡大、グローバル化への対応等を図る。

ETWest では、カンファレンスの拡充による規模拡大を図るとともに、関連機関等との連携と地域振興を促進する。

ET 実行委員会

ET2013

技術普及・高度化、業界振興、市場活性化を目的に、展示会の開催及び企画・運営、カンファレンス構築・実施する。

ET West 実行委員会

ET West2013

技術普及・高度化、地域産業振興を目的に、展示会の開催及び企画・運営、カンファレンス構築・実施する。

Ⅲ. 支部活動計画

北海道支部

組込みシステム技術の啓蒙普及に努め業界の地位向上を目指す。

業界団体と連携し、中小企業向け補助金、金融等の情報提供および有効活用を提言し、企業の一層の体質強化に努める。

行政への提言を行うほか、会員相互および異業種との協業化を推進し、事業機会の拡大を図る。

1. 支部会議

支部の活動方針の検討を目的に、年 1 回開催。

2. 協業セミナー

本部協業推進委員会と合同で、講師を招き、今後のビジネス活性化への知見を得るとともに、懇親会を開催することにより参加企業間の横の連携と、JASA のプレゼンスを高める。

東北支部

昨年度から引き続き、支部内の活動、他地域や他団体との交流会や情報交換、公益事業や各種イベントなど、活発に活動していく。また、TOHOKU ものづくりコリドーの大型出展事業(ET2013)や競争マッチング事業にも積極的に参画し、より効果的なビジネスマッチングを目指す。

4 年目となる今年度は、通年の事業に加え、新たなビジネスを目指したプロジェクト発足に向けた事業を追加する。また、地域産業活性化への貢献を目指して、存在感を内外へ示せる活動を継続して推進していく。

1. 支部会議

支部事業の進捗状況の確認、次年度事業計画を検討する。(年 5 回開催予定)

2. 新規プロジェクト発足事業

東北地域内にて会員企業を中心に新しいプロジェクトを立ち上げ、ビジネスに繋げるための活動を行う。(年 4 回程度)

3. オープンセミナー事業

JASA 会員、JASA 会員以外の企業、官公庁、自治体との交流促進、協会事業の周知徹底、業界動向の情報収集等を目的に、オープンセミナーや交流会を開催し活用していく。(年 2 回、支部会議と同日開催予定)

4. ET2013 事業

ET ロボコン東北地区大会と、Embedded Technology 2013 の対応

5. IPA/SEC 共催事業

JASA 会員、JASA 会員以外の企業、官公庁、自治体との交流促進、IPA/SEC 事業

の周知徹底、浸透等を目的に、オープンセミナーを開催し活用していく。(年2回開催予定)

6. 本部委員会共催事業
JASA ビジョンの実現の場として、本部の技術交流・協業推進委員会を活用する。B to B ソリューションフェア東北 基調講演(技術セミナー委員会との共催。年1回開催)
7. ビジネスマッチング事業
TOHOKU 高度 IT フォーラム事業の一環。東北地域に川下企業を招聘し、会員企業を主としたマッチングの支援を積極的に行う。(年2回開催予定)
8. 東北地域関連団体連携事業
組込み分野の研究開発補助事業や人材育成事業について、行政や他団体の施策も含めての情報を収集し、会員企業へのフィードバックを行う。また、施策への参画に当たっては、会員企業への支援を積極的に行う。

東京支部

平成 24 年度より活動が始まった、東京支部事業推進ワーキンググループを中心に 25 年度も若手技術者の積極的な参加を促していく。

また、人材育成、会員間交流活性化を推進すべく事業を計画し、企画・運営し、東京支部を始めとした協会全体の活性化に寄与する。

1. 事業推進ワーキンググループ
東京支部事業の企画・推進を行う。
2. フレッシュヤーズセミナー
会員企業をはじめとした組込みシステム企業を対象とした新人研修セミナー（ビジネスマナー、一般教養と組込み関連）を実施する。(第一四半期予定)
3. 支部会議
平成 25 年度の東京支部事業計画の発表とセミナー開催及び東京支部会員の交流会を実施する。(第一四半期予定)
4. 支部例会
セミナー開催及び、新入会員企業等による紹介プレゼンを実施したのち、交流会を開催する。(第 2・3 四半期予定)
5. ボウリング大会
スポーツの秋にちなみボウリング大会を実施する。また、会員企業若手社員同士の交流を図る。(第 3 四半期予定。厚生年金基金のスポーツ振興助成金を活用)
6. 見学会
組込みシステムに関する最先端技術を見学し、また、会員間の交流の場を提供する。(第 4 四半期予定)
7. 人材育成セミナー
新人向け、若年層、中核社員、管理職向け、OJT 指導者向け等を対象としたセミナーを実施する。

8. 就職説明会
組込みシステム業に関心のある学生向けの就職合同説明会を開催する。
9. 異業種交流会
若手、中核社員のための交流セミナーを開催する。

中部支部

産業の基幹技術でありモノづくりの根幹を荷っている組込みシステム技術も“よりよい生活（スマートグリッド）”に視点を置いた技術開発が求められる時代になってきている。当地域の得意分野といわれる輸送機産業、産業機械産業、電子産業等に蓄積されている技術とノウハウを積極的に活用し、研究開発機能を強化し、地元理工系大学との連携を一層図っていく必要がある。

当支部では、組込みシステム技術業界の振興と会員相互の交流・啓発及び、地域産業経済の発展に資するため下記の事業を積極的に推進する。

1. 国内外産業調査
COMPUTEX TAIPEIに参加して海外情報を情報を収集すると同時に、中国・台湾情報産業の実情を調査する。産業活動が活発な地域を訪問して国内産業の動向、中部地域以外の地域の産業活動状況を調査する。
2. 技術研究会
平成24年度より始まったアジャイル研究会を続けて行う。組込みシステムの開発にアジャイル開発手法を適用する場合に必要な開発手法について研究する。
(毎月開催予定)
3. 技術セミナー
大学・企業から先進的な指導者を招聘してセミナー・講演会を開催し組込みシステム技術の普及・啓発を図る。(年4回予定)
4. 管理者研修セミナー
新たに管理職になった人を対象に指導者・リーダーとして身につけなければならない知識・技術を研修するセミナーを開催する。(年3回予定)
5. 実践研修セミナー
アジャイル開発の専門家を招いて実習形式の実践セミナーを開催する。実践セミナーは会員、非会員等多数の参加者を募集する公開形式で開催する。
6. 見学会
情報系大学・先進企業・展示会等の見学を行う。
7. 支部会議
平成25年度事業計画、事業予算を審議する。新年度事業について重要度、必要性を議論し会員の参加、協力を得るようにする。
8. 支部会員企業交流会
年1回会員企業の経営者・幹部社員が情報交換・交流を図る場として忘年会を開催する。

9. 企業社員交流会

全国システムハウス厚生年金基金からの補助金を得て、会員企業の社員が相互に交流・親睦をはかれるような機会としてボーリング大会を開催する。

北陸支部

本部事業への積極的参加、IT関連団体との交流、組込み技術等の情報提供等、会活動の強化を図り、会員の増強及び組込み技術の普及・啓発に努める。

1. 支部例会

支部の事業及び予算等の策定、報告を行う。会議終了後、懇親会を行い、情報の交換と会員相互の交流を深める。(年2回予定)

2. 視察研修

支部会員による、海外先進企業の組込み技術の状況と動向についての視察研修・意見交換を行い、会員企業の技術向上を図る。実施後セミナー等を開催し、関係団体等に情報提供することとし、合わせて地域における組込み技術の啓蒙浸透を図る。

近畿支部

近畿支部はこれまで行ってきた事業をさらに推進し、支部会員の技術啓発、情報収集、営業力強化に寄与する活動を行い、会員企業の社員のスキルアップ、ネットワーク作りに役立ていただく。

公益事業としては、技術セミナーと国内及び海外視察を実施し、組込みシステム技術の普及発展に寄与する。

近畿地方での行政及び他団体との交流を深め、地域における組込みシステム分野の発展に寄与する。

ET West2013の運営に支部として協力し、本部の展示会事業を支援する。

1. 社員研修会

関西電子情報産業協同組合との共催で、新入社員に対するビジネスマナー研修講座を開催する。(年1回予定)

2. 技術者交流フォーラム

会員企業もしくは外部の企業、研究施設等の見学を行い、技術担当社員の情報収集、技術啓発に役立てる。(年3回開催予定)

3. 技術セミナー

組込み技術に関する先端の技術についてセミナーを開催し、技術担当社員の技術啓発や人材育成を行う。講師の支払報酬及び交通費を負担し、企業内ではできない研修の場を提供する。(年4回開催予定。うち1回はET Westのカンファレンスを受講)

4. 技術展示会

「組込み総合技術展 関西」(Embedded Technology West)に関する事業。

5. 国内視察

国内の視察研修を行い、視察地における組込みシステム技術の調査、地域の経済情

勢を視察し、会員に提供する。視察旅費の一部を負担し、組込みシステム技術の普及啓発に寄与する。

6. 市場開発交流フォーラム
会員企業もしくは外部の企業、研究施設等の見学を行い、営業担当社員の情報収集、技術啓発に役立てる。(年3回開催予定)
7. 海外視察
海外における組込みシステム技術状況の実態を調査、現地の経済情勢を視察し、会員に提供する。視察費用の一部を負担し、若い技術者が海外に見聞を広めることにより、組込み技術の普及啓発に寄与する。
8. 会員月例会
会員企業の事業及び製品の紹介を行う。(隔月開催予定)
9. 総務交流フォーラム
各方面から講師を招聘し、討論を交えたセミナーを開催する。総務・管理部門社員のスキルアップ、情報収集に役立てる。終了後は講師も交えて懇親会を行い、会員の交流を図る。(年3回の開催を予定)
10. 会員交流懇親会
会員の交流を図ることを目的に開催する。(年2回予定。うち1回は、支部活動に参加する機会の少ない若手社員にも、他社の社員と交流し情報収集、ビジネスチャンスにつながるよう、10月セミナー終了後に開催予定)
11. 近畿情報システム産業協議会加盟団体主催賀詞交歓会
近畿情報システム産業協議会加盟の7団体の主催で、新春IT振興フォーラム並びに賀詞交歓会を開催し、他団体の会員と交流する。
12. 支部会議
近畿支部の前年度活動報告及び決算報告、新年度の活動計画及び予算の確認する。
13. 役員会・会議
支部事業計画に基づいた具体案の検討を行う。また必要に応じて、幹部会を開催する。(年5回予定)
14. 企画活動
他団体(近畿情報システム産業協議会、組込みシステム産業振興機構、関西文化学術研究都市推進機構等)の活動に参加し、交流を図る。

九州支部

1. 支部会議
支部事業の活動報告及び進捗状況確認を行う。(年4回予定)
2. 企業見学
九州支部会員企業である(株)デンケンへの企業見学を行う。同社が建設を行っている(開催時完成予定)ソーラーファーム等を見学することで、新エネルギーに対する知見を高める。

3. 協業セミナー
講師を招き、今後のビジネス活性化への知見を得ると共に、懇親会を開催することにより参加企業間の横の連携を図る。
4. スポーツ交流会
スポーツ交流会を開催することで、各社社員の健康増進及び交流を図る。(厚生年金基金のスポーツ振興助成金を活用)
5. ET ロボコン九州地区大会
実施委託団体と協力して ET ロボコン九州地区大会を開催することで、地場企業及び教育機関の組込み技術向上・普及を図る。
6. ES-Kyushu セミナー共催
九州全域を活動範囲とする「九州 IT 融合協議会」とのセミナー開催を共催することにより、組込み技術向上・普及、及び九州支部の知名度を上げる。
7. 他団体への支援・協賛
主に福岡市内を活動拠点とする団体の活動を支援協賛することにより、組込み技術向上・普及、及び九州支部の知名度を上げる。